

令和4年度

東彼杵町漁業集落排水事業特別会計

予 算 概 要

令和4年3月

東 彼 杵 町

令和4年度予算編成方針

漁業集落排水事業は、平成13年5月から供用を開始し、漁業集落地区の生活環境向上と閉鎖性海域である大村湾の水質改善のため事業運営を行っている。

この漁業集落排水事業について、平成31年に公営企業会計の適用拡大に向けた新たなロードマップが総務省より示され、令和5年度までに公営企業会計事業への移行要請が通知された。そのため、移行に向けた準備業務として、令和2年度から令和3年度にかけて集落排水事業資産評価整理業務を行った。

今年度は、令和5年度からの公営企業会計事業への移行を目標に集落排水事業公営企業会計システム導入等を行う。

公共柵への接続率は83%であり、今後とも接続率の向上を目指し経営の安定化を図る。

令和4年度 予算の概要

1. 総括

令和4年度東彼杵町漁業集落排水事業特別会計予算の歳入、歳出総額は13,700千円で、前年度より4,400千円の減額となっている。

2. 歳入

使用料として2,547千円を計上した。

また、公営企業会計移行に向け企業会計システム導入等を行うため、公営企業会計適用債2,500千円を計上した。

一般会計繰入金8,635千円、その他に手数料及び諸収入等18千円を計上した。

3. 歳出

業務費中、総務管理費は37千円を計上した。

運営費については、光熱水費等需用費4,621千円及び維持管理保守委託料等2,366千円等、計7,448千円を計上している。なお、西部クリーンセンター維持管理費については、農業集落排水事業との処理人口比4：6で按分している。

建設費については、公営企業会計移行のための企業会計システム導入委託費等2,585千円等、計2,612千円を計上している。

公債費については、元金2,964千円、利子467千円、計3,431千円を計上した。

科目別説明

歳入の部

(1款) 分担金及び負担金

科目設定のみにとどめた。

(2款) 使用料及び手数料

使用料として2,547千円と手数料等8千円の合計2,555千円を計上した。

(3款) 県補助金

科目設定のみにとどめた。

(4款) 繰入金

一般会計繰入金として8,635千円を計上した。

(5款) 繰越金

科目設定のみにとどめた。

(6款) 諸収入

科目設定のみにとどめた。

(7款) 町債

公営企業会計適用債2,500千円を計上した。

歳出の部

(1款) 業務費

総務管理費

(単位：千円)

節	本年度	前年度	比較	説明
9. 旅費	8	8	0	
10. 需用費	10	10	0	印刷製本費、消耗品費
11. 役務費	16	16	0	通信運搬費
12. 委託料	1	1	0	
13. 使用料及び賃借料	1	1	0	
18. 負担金補助及び交付金	1	1	0	
計	37	37	0	

運営費

(単位：千円)

節	本年度	前年度	比較	説明
3. 職員手当等	1	1	0	時間外勤務手当
10. 需用費	4,621	2,988	1,633	光熱水費、修繕費等
11. 役務費	156	162	-6	建物共済保険料、電話料等
12. 委託料	2,366	2,291	75	維持管理保守点検業務委託料等
13. 使用料及び賃借料	1	1	0	
14. 工事請負費	300	1,041	-741	管路補修工事費等
15. 原材料費	1	1	0	
17. 備品購入費	1	1	0	
21. 補償、補填及び賠償金	1	1	0	
計	7,448	6,487	961	

(2款) 建設費

節	本年度	前年度	比較	説明
8. 旅費	17	36	-19	
11. 役務費	1	1	0	
12. 委託料	2,585	4,157	-1,572	資産整理業務委託費等
13. 使用料及び賃借料	9	13	-4	ETC 使用料
14. 工事請負費	0	3,800	-3,800	処理場等更新工事等
計	2,612	8,007	-5,395	

(3款) 公債費 公債費については、元金2,964千円、利子467千円を計上した。

(4款) 予備費 予備費については、172千円を計上した。